

理研ビタミンは天然素材を用いた食品事業や改良剤事業、ヘルスケア事業を手がける。中でも大阪工場（大阪府枚方市）は、食品用改良剤や化成品用改良剤などの製造を担う。

同工場が産業用ヒートポンプを初めて導入した背景には、コンプレッサーの高温停止による生産性低下の悩みがあった。圧縮空気を製造するコンプレッサーは、同社で製造機器の制御やエアブロー、窒素発生装置などの重要な工程で使用する。

理研ビタミン

夏場になるとコンプレッサー室内の温度が40度Cを超え、毎年の

モノづくり現場

生産革新・脱炭素社会への挑戦



産業用ヒートポンプ導入

室温下げエネ使用も削減



ように機械が停止。復旧に数時間を要していた。解決のため空調機器の導入も検討したが、同工場ではエネルギー

が、同工場ではエネルギーが、同工場ではエネルギー

東芝キャリアの循環加温ヒートポンプを導入した現場

「室内の温度を下げつつ、エネルギー使用量も減らす。一見矛盾した効果を同時に達成

月に導入したのが、東芝キャリアの循環加温ヒートポンプ「CAO」

「室内の温度を下げつつ、エネルギー使用量も減らす。一見矛盾した効果を同時に達成

生産効率もアップし、ガス使用量を削減できた。カオンス導入で年間約30%減、金額換算で約23万円の削減を実現。エネルギー使用量は原油換算で年8.1%減の目標を掲げ、11

【企業データ】所在地 大阪府枚方市 出口1-1-32、072-841-0121 生産品目 食品・化成品用改良剤 年間エネルギー使用量(原油換算エネルギー原単位) 約262kg/CO2排出量 非公表

(大阪・田畑元)